

第3次富谷市行政改革基本方針の 取組状況について(令和6年度)

市では、令和6年3月に策定した「第3次富谷市行政改革基本方針」及び「改革工程表」に基づき、令和6年度から令和8年度までを計画期間とする行政改革に取り組んでいます。このたび、令和6年度の取組状況をまとめましたのでお知らせいたします。

行政改革改革工程表の取組状況

改革工程表に掲げる取組について、令和7年1月末時点で年度評価を行いました。基本方針ごとの評価は、全ての項目において、「計画通り」以上の進捗となりました。

| 基本方針 | 計画より 進んでいる | 計画通り | やや遅れて いる | 計画に着手 していない | 計 |
|--------------|---------------|------|-------------|----------------|----|
| 1 行政経営能力の向上 | 3 | 6 | 0 | 0 | 9 |
| 2 市民参画と協働の推進 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 |
| 3 持続可能な財政運営 | 2 | 7 | 0 | 0 | 9 |
| 合計 | 5 | 15 | 0 | 0 | 20 |

【計画より進んでいる実施項目】

業務効率及び成果を意識した業務の推進、ワークライフバランスの推進、子どもから高齢者まで全ての市民目線に立った行政運営、財政支出の適正化、その他歳入確保策の検討・推進

基本方針 1 行政経営能力の向上

課題に対し、的確かつ迅速に対応できる人材の育成や、効果的な組織の機能強化に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大の局面で現れた意識や行動の変化に対応するため、国が推進するデジタルガバメントに合わせ行政の高度化・効率化を図り、限られた人員での効率的・効果的な行政経営を目指します。また、効率的・効果的な行政経営を行うことで、職員のワークライフバランスの実現を目指します。

【主な取組状況】

| 実施項目 | 実施内容 | 評価 |
|---------------------------|---|-----------|
| 子どもから高齢者まで全ての市民目線に立った行政運営 | 各種事業において、子どもから高齢者まで全ての市民目線に立った行政運営を心掛け、改善を図るとともに、子どもにやさしいまちづくりの推進に取り組んだ。 | 計画より進んでいる |
| ワークライフバランスの推進 | 夏季休暇の付与日数を3日から5日へ増やすとともに、夏季休暇期間を前後1カ月延ばし、職員のワークライフバランスの促進に努めた。 | 計画より進んでいる |
| 行政のDXの推進 | 「みやぎ電子申請サービス」と「ぴったりサービス」を連携させることにより各種サービス利用の効率化を図ったほか、庶務事務システムの導入により、年次有給休暇申請・時間外申請等の電子決裁化等を行い、全庁的なDXの推進に取り組んだ。 | 計画通り |

基本方針 2 市民参画と協働の推進

まちづくりへ市民参画を促進し、市民、町内会、NPO、企業、大学など多様な主体と様々な分野での協働によるまちづくりを推進します。併せて、企業や大学等との連携協定を活用し、地域課題の解決に向けた取組を推進します。また、これらの取組を含め、市民にとっての有益な情報を積極的に発信し、情報の共有を図るとともに、対話と相互理解に努めます。

【主な取組状況】

| 実施項目 | 実施内容 | 評価 |
|---------------------|---|------|
| 市民協働のまちづくりの推進 | とみやわくわくミーティング及び市民活動交流会を開催し、事業への市民参画を促進するとともに、各種アンケート調査により市民ニーズの把握に努めた。 | 計画通り |
| 市広報紙・ホームページ・SNS等の充実 | ソーシャルメディアガイドラインや運用ポリシー、情報発信ルールブックなどを策定するとともに、各部にタブレット端末を配布し、SNSによる情報発信に取り組みやすい環境を整え、発信力の強化を図った。また、フォローアップキャンペーンの実施や、チラシの配布等によりフォロワー数増加に努めた。併せて、広報とみやでは引き続き音声版を実施し、情報のバリアフリー化を図った。 | 計画通り |

基本方針 3 持続可能な財政運営

社会保障関係経費や公共施設の老朽化に伴う経費の増加など、これまで以上に計画的な財政運営が必要になるため、コスト縮減及び費用対効果を意識した業務を推進し、財政支出の適正化を図るとともに、選択と集中による予算編成を行うことで健全な財政運営に努めます。また、自主財源を確保し、安定・自立した歳入の確保に努めるとともに、ふるさと納税・企業版ふるさと納税の充実や広告事業の実施など、新たな財源の確保に取り組みます。

【主な取組状況】

| 実施項目 | 実施内容 | 評価 |
|--------------|--|-----------|
| 歳入確保策の検討・推進 | 寄附の増加につながるよう、返礼品の充実及び効果的なPR手法について検討、実施した。未利用地については、賃借や売却することにより有効的に活用した。 | 計画より進んでいる |
| 債権管理の強化 | 宮城県地方税滞納整理機構へ職員を継続派遣し、派遣職員の徴収技術の向上を図った。また、税外債権徴収体制を整備し、税外債権の計画的、統一的な債権管理を進めるとともに、裁判手続きによる私債権回収事務のノウハウ蓄積を図り、更なる未納額縮減に努めた。 | 計画通り |
| ゼロカーボンシティの推進 | 新築施設の建物・設備の省エネ化や、防犯灯・街路灯などのLED化を進め、公共施設等の省エネルギー化の推進を図った。 | 計画通り |